

令和3年度第4回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和3年7月20日（木）午前9時56分から午前10時31分まで
場 所 天童市教育委員会 第1会議室
出席委員 相澤一彦教育長、工藤昭広委員、村山晴香委員、松村昌子委員、
大内あゆ子委員
出席者 武田文敏教育次長兼教育総務課長、町田真裕学校教育課長、
矢萩茂生涯学習課長、大沼敦学校給食センター所長、
事務局（教育総務課職員）

議 事

議第12号 天童市学校評議員の委嘱について
議第13号 令和4年度使用教科用図書の採択事務処理について
議第14号 令和4年度使用小中学校教科用図書の採択について

<教育長あいさつ>

おはようございます。まもなく一学期が無事終わり夏休みに入ろうとしています。先日は、寺津小学校へ訪問を行い、子どもたちは教職員と一緒に頑張って勉強をしていることが伝わってきました。

まちづくり懇談会で出された話題について、概要をお知らせいたします。学区の見直しについて長岡地域からの主な観点は、中学校区で三中と一中が交差しているところがあり、もともと長岡は、高掬地域でそこから分離した経緯があり三中学区ですが、歴史的な経緯もあり簡単には解決できないようです。今後、児童生徒数の状況を見ながら検討するとお話ししました。

小中学校のコロナ禍における教育活動の制限について、コロナでも学校行事を中止にしないでほしいというご意見です。まったくそのとおりで、今のところ市内小中学校では修学旅行を中止にしたところはありません。修学旅行は、行く場所やバスの乗り方など、運動会では、密集する競技を別競技に置き換えるなど、工夫して子どもたちの思い出につながる行事にしますと回答しました。

それから、東桜学館開校後の学力や進学等の影響について、毎年市内から東桜学館に進学するのは約19人で、ある程度学力の高い方が東桜学館に進学するので中学1年生の学力テストは、若干下がる傾向にあります。しかし、3年生になると元に戻り進学校への進学者も減っていない状況です。

田麦野地域から高齢化時代に対応した公民館について、高齢者は足腰が弱く階段を昇るのが大変であり、検討しなければならない課題です。エレベーターも検討しましたが、構造の関係で難しく1階に畳を敷いて避難所にできるようにしています。今後も改善を検討していくとお話ししました。

次に、学校のジェンダー平等について、中学校では制服の検討をはじめ、女子生徒のセーラー服のズボンはLGBT仕様を検討しています。実際に生徒が履いてみたら、結構気に入ってくれました。

こうしたジェンダー平等の視点で、制服のほかにも生徒会の副会長は女子というような校則がないか、名簿や服装、役員、係分担、さらには教職員の役割も含め、市内の小中学校長に点検するようお願いしました。

結びに、いよいよオリンピックが始まりますが、さまざまな課題があります。子どもたちにいい夢を与え、教育的な課題も含めてどういうふうに解決していくか私たちも見ていきたいです。

< 議 事 >

議第12号 天童市学校評議員の委嘱について

< 可決する >

審議経過 質疑なし

議第13号 令和4年度使用教科用図書の採択事務処理について

< 可決する >

審議経過 質疑なし

議第14号 令和4年度使用小中学校教科用図書の採択について

< 可決する >

審議経過 質疑なし

< その他 >

大内委員： 明治大学との連携講座で、万葉の世界という講座に参加しました。万葉集は、一度も読んだことがないのですが、明治大学の先生のわかりやすく楽しい講義であつという間に修了することができました。

残念だったのが、定員30人に参加者が18人と少なく、貴重な経験なので市民にもっとピーアールして参加者が増えてくれるといいと思いました。

教育長： 以上で、第4回教育委員会会議を終了します。